

美しいあなんを求めて

下水道

連載③

排水設備

阿南市では、富岡町のJR牟岐線より西側で「公共下水道事業」を進めております。計画では、平成23年春に終末処理場（富岡浄化センター）の供用を開始する予定です。
今回は、排水設備についてご説明いたします。

「排水設備」とは？

公共下水道の各種施設は、「市がつくる部分」と「個人がつくる部分」に分けることができます。（下図参照）

市がつくる部分としては、各家庭の敷地内に設置する「公共汚水ます」と、道路下に埋設する「汚水管」及び、最終的に汚水を処理する「終末処理場」などがあり、供用後の維持管理も市が行います。

それに対して、個人がつくる部分は、各家庭から出る污水（トイレ、風呂、台所など）をまとめ、「公共汚水ます」に流し込むまでの部分のことを言い、供用後の維持管理も個人でしていただきます。また、くみ取り式トイレの場合は水洗トイレに改造する必要があります。この個人がつくる部分のことを「排水設備」と呼んでいます。

「公共汚水ます」とは？

「公共汚水ます」とは、各家庭の敷地内（公私境界から1メートル以内）に設置させていただきます。各家庭の汚水を公共下水道に流し込む入り口になります。設置工事については市で行います。排水設備によって「公共汚水ます」に流し込んだ汚水は、道路下に埋設された汚水管に入り、終末処理場まで流れていきます。

なお、「公共汚水ます」は、道路下に汚水管を埋設する工事に合わせ、順次設置していきまします。設置場所については個別に協議させていただきます。

汚水と雨水は別々に！

当市の下水道は、汚水と雨水を別々に処理する分流式となつ

ており、「公共汚水ます」に雨水を流すと、汚水管や終末処理場がパンクしてしまいます。よって、排水設備工事をする時に合わせて、雨どいの水は汚水とは分けて側溝等に流して下さい。

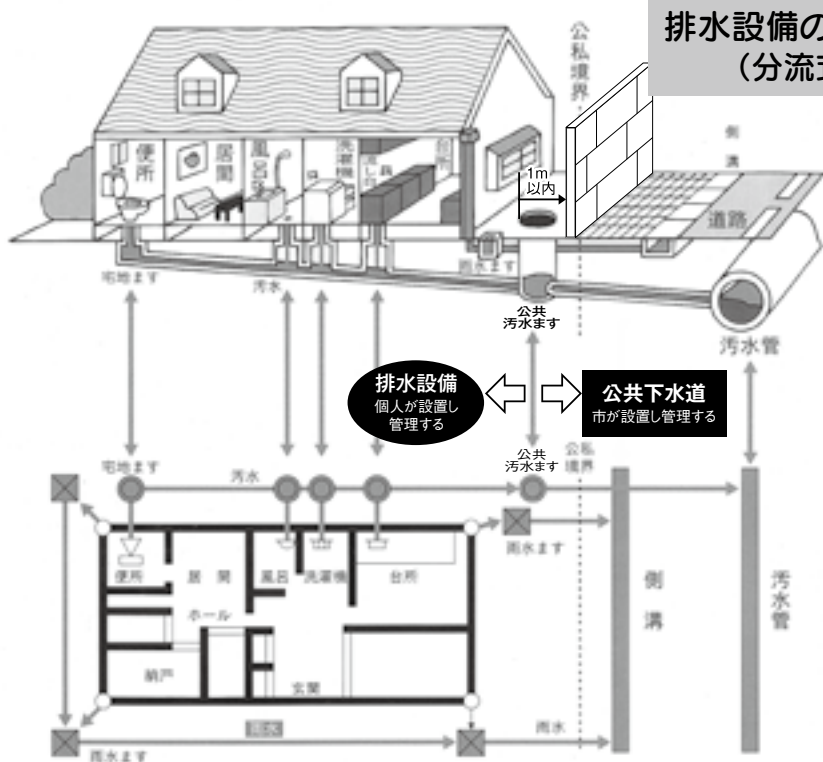
なお排水設備工事をしていたり、ただ時期については、終末処理場の供用開始後、市から連絡をいたします。

また、くみ取り式トイレの水洗化は、終末処理場の供用開始後「3年以内」にしてください。

快適な生活環境をめざし

公共下水道が完成しても、各家庭での排水設備工事（下水道への接続）が進まなければ、下水道による生活環境の改善効果はなく、せっかく造った施設が無用の長物と化してしまいます。事業区域内の皆さんには負担をおかけすることになります。が、当事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

排水設備のしくみ（分流式）



「排水設備」の設にご協力を！



今回は、「受益者負担金」について掲載します。

問い合わせは
下水道課（☎22-1796）へ